

認定 農業者紹介



村山 晃一・美幸夫妻 (末吉町)

平成 12 年鹿児島市内より Uターンし、奥さんの出身地岩川で 3 年間、平成 15 年から現在の国原 (畑かん事業モデル地区) ハウス 30 a と作業場で苗全般の栽培から鉢の販売まで手がけておられ、奥さん (美幸さん) と、子ども (長男 高校 2 年, 次男 中学 1 年, 三男 小学 2 年) 男 3 人兄弟の 5 人家族で、川内団地に住んでおられ、国原のハウスまで通っていらっしやいます。

就農時から規模拡大を図っていますが、全てが手作業であるため大変忙しい毎日で、ハウス 30 a で、年間 30 万鉢の販売をこなしています。

平成 19 年 7 月に認定農業者となり、現在は、ポットティング・マシンを使って鉢上作業が楽になったと奥さんが答えられ、夫婦で朝から夕方まで頑張っておられます。今後はさらに規模拡大を図り、平成 24 年度目標は、ハウス 50 a と 60 万鉢の経営にもっていき、常用雇用と農繁期にはシルバー人材センターなど活用し、労働力を確保し、休日制の導入などしたいと、明るく笑顔で答えられていました。苗鉢の販売は、道の駅「やごろうの里」で販売しています。



新規 就農者紹介

重住 博・恵子夫妻 (末吉町)

平成 21 年に農協を退職後、すぐに家業を継ぎ平成 23 年 3 月に認定農業者になり、4 月より新規就農者支援対策事業認定にもなっておられます。

畜産と野菜の複合経営と父親からの代からの芝も経営されており、当初は生産牛 4 頭、甘藷 120 a, らっきよ 30 a, 自然薯 4 a でした。

平成 22 年 12 月現在、生産牛 6 頭、甘藷 400 a, らっきよ 50 a, 自然薯 15 a, わらび 30 a, 葛 25 a と規模拡大を図っています。

両親と子ども 3 人の家族で、今後はコスト削減によるエコ農法を確立し、生産体系を見直し、農繁期と農閑期のバランスをとり、年間作業できる作物を作付けしていきたいとのことでした。自然薯の販売は、道の駅「すえよし」で販売しています。



重住さん夫妻と長女帆香ちゃん(小学 1 年)